

# くにたち

世界気象機関(WMO)が発行する2022年の地球の気候(暫定版)によると、2022年の世界の平均気温は、1850年から1900年の産業革命前の平均よりも約1.15℃高いと推定される、と報告されています。このことから、日本の各地に鉄道が敷設されはじめた時代と比べて夏の気象は過酷になったといえますが、鉄道に関わる人々の取り組みにより、現在も鉄道が安全に、安定して運営され続けています。

今月号では、この過酷になった高温や降雨、風などの「夏の気象に備える」技術に焦点をあてて、鉄道総研の最近の取り組みについて紹介しました。運行の安全を保つための軌道や土木構造物などのハード面、運転規制などのソフト面の対策のほか、輸送の安定を保つための設備の保守など、過酷な夏の気象に対してさまざまな分野において総合的な研究開発が行われています。今後も、激甚化する気象災害に対して鉄道の安全や安定を維持、強化するための研究開発を進めていきます。

さて、次号と次々号の特集では、気候変動に関する別の切り口として、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させるカーボンニュートラルの実現に寄与する取り組みについて紹介します。次号は「鉄道のエネルギーからみる脱炭素化」として、温室効果ガス排出量の少ないエネルギー源の使用や、省エネや蓄積などのエネルギー消費量を削減するための研究開発について紹介する予定です。どうぞご期待ください。(S.S.)

## 次号予告

2023年7・8月号 (Vol.80 No.4)

特集 鉄道のエネルギーからみる脱炭素化  
鉄道総研の研究開発最前線 材料技術研究部

\*タイトルは変更する場合があります。

■鉄道総合専門誌■

**JR gazette** JRガゼット 定価639円+送料88円  
(ともに消費税込み)  
年間購読料7,668円  
(消費税込み+送料サービス)  
鉄道事業各社の業務運営に供する

■ 6月号主要目次 ■

特集：ダイヤづくり

連載等

- JRシステム、鉄道総研、鉄道・運輸機構  
2023年度事業計画の概要
- GLOBAL REPORT  
ポストコロナにおける米国の訪日旅行  
動向について
- 鉄道の未来を創る研究開発  
環境工学研究部における最近の研究開発

発行所  
**(株)交通新聞社**  
〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台2-3-11

図書のご注文は、  
TEL 03(6831)6622  
FAX 03(6831)6624

鉄道総研の  
電子書籍

<https://www.rtri.or.jp/>

RRR のバックナンバーも  
ご覧いただけます

# RRR

ご注文は(一財)研友社へ  
TEL: 042-572-7157  
FAX: 042-572-7190  
<https://www.kenf.jp/>